

## 先進地に学ぶ 行政視察報告から

### ◎総務財政常任委員会 平成26年7月2日(水)～7月4日(金)

#### ●石川県加賀市「予算編成過程の透明化（見える化）」について

##### 1. 事業実施の背景及び目的

市長の所信表明並びに総合計画の施策の柱にも掲げられた、「健全な財政運営と透明度の高い市政の確立」に基づき、行政評価の公表や公開外部評価を実施した。

これらを踏まえて予算要求から予算案の作成までの状況を公表するなど、市民の目に見える形の予算編成を行うことで、行政情報の透明化を図り、市政に対する理解と信頼を深めてもらう。

##### 2. 事業の内容と特色（見える化の概略）

①公開外部評価：行政評価を実施した事業のうち、市民の関心が高い主要な事業については、市民委員による公開外部評価会を実施し、市民目線からの評価を受ける。

②今後の対応決定：公開外部評価を実施した事業について、評価結果を踏まえ、今後の事業への対応を検討する。

③予算編成への反映：公開外部評価の結果及び今後の事業への対応を踏まえた予算編成を行う。各段階ごと（要求段階、財政担当調整後、市長決裁後）に、市ホームページからの意見募集を行い、予算編成の参考とする。

#### ●石川県野々市市「コミュニティバス事業（のっティ）」について

##### 1. 事業実施の背景及び目的

鉄道や路線バスを利用するにも、駅やバス停までの移動手段となる路線バスの本数が少ないことや、運行自体がない等、公共交通が利用しづらい状況にあった。

このことから、次の3項目を目的に、新たな公共交通としてのコミュニティバスを運行した。

①地域間における移動手段の確保と円滑化

②高齢者や障害者等移動制約者の移動手段の向上

③環境負荷の軽減

##### 2. 事業の内容と特色

平成15年から運行を開始した「のっティ」は10周年にあたる。これまでに利用実態調査（金沢工業大学と連携）や利用者アンケート調査等の結果を踏まえて、改良・改善を加えてきた。

社会資本整備総合交付金補助制度を活用して車両4台を購入しており、車種は統一し、ユニバーサルデザインで広いスペースを確保（30人乗り）している。

運賃は、後払いの100円とし、運行は、4ルートで乗り間違え防止のためルート毎にバスの色を変えている。

### ◎建設産業常任委員会 平成26年7月7日(月)～7月9日(水)

#### ●長野県須坂市「蔵の町並みキャンパス事業」について

##### 1. 事業の概要

須坂市は、製糸業で栄えた町で、市の中心市街地には歴史的建物が多くみられる。貴重な歴史・文化遺産を後世に残そうと、修理・修景事業を行い、賑わいづくりに努力してきた。

しかし、観光客数は減少し、事業の効果が見られない状況になった。その課題を、「少子高齢化による中心市街地の空洞化対策」・「歴史・産業遺産を活用した賑わいの創出」・「市内に高校はあるが大学は無い」ととらえ、産・学・官・民の連携で、他学生の来訪による知の創出と発信の地として、歴史的建物を活用し、学生等が研究・交流するなかで、新たな情報の発信地として賑わいのあるまちづくりを進めるために、「蔵の町並みキャンパス」構想が生まれた。平成17年には、教育機関、市内企業、まちづくり団体、須坂市で構成する「蔵の町キャンパス推進協議会」を設立した。この事業は平成18年度から開始されている。

##### 2. 事業の効果

平成25年度は、大学7校11学部で延べ1,200人が参加している。民家の再生・街区の再生など、地域資源の活用によるまちづくりの研究・発表会を通して賑わいを創出している。

#### ●長野県須坂市「須坂市民農業大学校『園芸塾』事業」について

##### 1. 事業の概要

これから農業を始めたい方、農業に関心を持つ市民を対象に、須坂園芸高校の施設やほ場を開放し、農業の基礎的知識と技術を学びながら、栽培・管理・収穫等の実習から農業の素晴らしさを体験してもらう。栽培方法だけでなく、「食」の基盤となる「農業」「農村」の重要性を知ってもらい、これからの須坂市の「農業」「農村」の在り方を考えていくもので、平成18年度に事業を開始し、市農林課、市農業委員会、須坂園芸高等学校が事業主体となっている。

受講生は毎年募集し、定員は10名。受講生の負担は、材料費として年5千円。

5月から翌年2月まで月3回程度（1日当たり2時間程度）で年間36時間の授業を実施。野菜栽培実習のほか、ものづくりや伝統野菜の栽培も行い、年1回の課題研究発表会を実施している。

##### 2. 事業の特色と効果

須坂園芸高校の生徒と一緒に学ぶオープン授業を実施している。また、園芸塾卒業生による農業クラブ「楽